

平成25年度 学校評価総括表（徳島市内町小学校）

1 学校教育目標 互いを大切にしいあい、心豊かにたくましく生きる児童の育成

2 学校経営ビジョン（めざす子ども像）

- (1) 健康でたくましく、感性豊かな子ども（心身ともに調和のとれた人間性豊かな心を身につける。）
- (2) 進んで勉強し、考え、表現できる子ども（みずから課題を見つけ、主体的に解決する。）
- (3) まわりの人を大切にできる子ども（互いに認め合い、磨き合い、高め合う。）

3 本年度努力目標

- (1) 教職員の和と総意を基本とし、保護者・地域との連携を密にし、相互の信頼と協力のもと、地域に開かれた特色ある学校作りに努める。
- (2) 人権教育を教育活動の全領域で取り組み、すべての教職員の共通理解のもとに推進し、人権意識の高揚に努める。
- (3) 教育課程の趣旨に基づき、指導方法の工夫・改善を図り、学力向上と基礎基本の定着に努める。
- (4) 一人一人を生かす特別支援教育の推進と充実に努める。

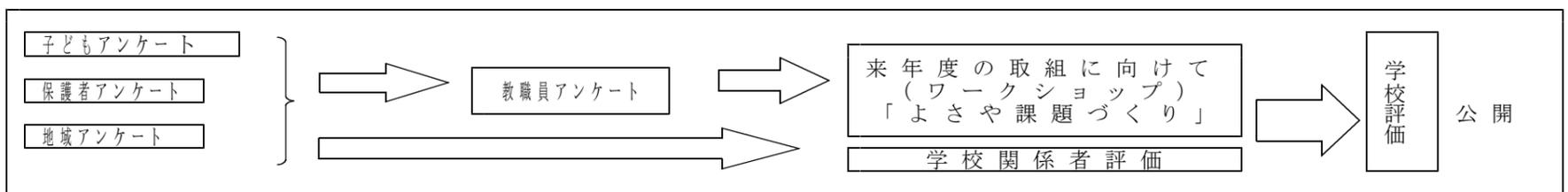
4 本年度スローガン 「いのちを大切に」 「自分からあいさつをしよう」 「きまりを守ろう」

5 総括表

領域	評価項目	評価の観点	具体的目標	評価及びその理由	学校関係者評価		次年度への改善点等		
					学校関係者の意見	評価			
学校経営	学校経営方針	スローガンの児童や保護者への周知・徹底	3つの内容が答えられる児童、保護者70%以上。	児童72.4%保護者55.1%児童朝会等でも確認しているが、児童には定着している。	B	時代のニーズに合わせたPRを。	A	学校だよりやホームページへの掲載のほかにも、児童や保護者の常に入目に入る所への掲示やPTA総会での説明等工夫が必要。	
	開かれた学校	情報発信 学校・保護者・地域の相互理解と連携の推進	週1回以上の学校だよりの発行やHPの更新。 「学校が保護者に出す文書・連絡などはよくわかり適切である」「学級(学校)の様子や学習内容などを、学校便りやホームページなどによってよく知ることができる」「学校は、保護者からの連絡や相談に応じてくれる」と思う保護者85%以上。 「学校は、地域と連携して教育活動を進めようとしている」と思う地域住民90%以上。	達成 保護者92%, 89%, 86%で達成 地域95%で達成 外部講師を招く行事公開は年6回 情報公開したつもりになっていて十分伝わっているかどうかの確認が必要である。	A	公開授業等で地域の方たちの参加増を感じる。	A	検証しながら、双方向の情報伝達を図っていく。 家庭や地域の声に耳を傾けていけるようにネットワークづくりを行う。 教職員間で共有し、その課題に全校挙げて取り組んでいきたい。	
	学級経営	一人一人を大切に する学級経営の実践	「先生はあなたのことをわかってくれている」と思う児童、「学校は、子ども一人一人を大切に、互いに認め合う学級・学校づくりに取り組んでいる」と思う保護者、両者ともに90%以上にする。	児童96%, 保護者88%できる子、できない子、やる子、やらない子など、二極化が目立つ。現状を把握し、取り組みを見直して必要あり。	B	少人数ならではのきめ細やかさ。	A	A	子どもの実態把握に努め、一人一人のニーズに対応していく。 職員同士で情報交換をしながらたくさん目で見えていく。
	教職員の資質向上	授業力向上 児童理解の推進	わかる授業を展開するため、全学級で授業研究会を行う。 児童理解を深める研修(情報交換)を行い、「学校が楽しい」と思う児童を90%以上にする。「わかる授業に努め、基礎的な学習の定着が図られるように取り組んでいる」と思う保護者85%以上。	全学年で、講師を招いて授業研究会を開いた。 児童96%, 保護者79%わかる授業については、十分達成できなかった。 活用力「話す力」の育成に課題が見られる。	B	学力に合わせたオプションの宿題を展開しては？	A	子どもたちに「活用する力」特に話す力について課題がある」という現状を教職員で共有し、その課題解決に向けて全校あげて取り組んでいく。	
	施設環境整備	安全で美しい 学校環境の整備	施設設備が整備され、安全に配慮ができています。 校庭、教室などにごみがなく、花壇に花のある学校にする。	放送設備、雨漏り等少しづつ改善されている。 敷地内にゴミがなく、常に花壇に花がある。 6年生の奉仕作業等のおかげである。	A	校門前の美しい花→環境アップ	A	一部の児童、職員の支援に負う面が大きく、全体のボランティア意識の高揚を図っていく。	
教育生活	学力向上	基礎基本の定着 家庭での学習習慣の定着	「勉強がわかる」児童を90%にする。 「家でしっかり勉強する」児童を90%以上にする。「子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいる」と思う保護者85%以上。	児童93%, 80% 保護者81% 子どもたちのやる気を生かしきれていない。	B	学習に対する評価の高さは素晴らしい。	B	授業と家庭学習を関連づけるなど、家庭との連携をさらに図っていく。わかる授業のさらなる展開を行う。	
	心の教育	感謝の気持ち 粘り強さ 自尊感情の高揚	「友達を大切に、仲良くできている」「すぐにあきらめずに粘り強く取り組んでいる」と思う児童を90%以上にする。 「本校の子どもたちは、やさしく思いやりのある態度が見られる」と考える保護者を90%以上にする。	児童98%, 89% 保護者86% 自分を大切に、思いやりの心育成へ取り組んでいるが、子ども同士のトラブルはある。	B	人権教育の大切さを感じる。	B	A	道徳教育や人権教育のさらなる充実を図る。 感謝の気持ちや思いやりの心育成については、周りの大人の働きかけも大切。
	生徒指導	望ましい生活習慣の育成 仲間づくり	「自分からあいさつする」児童を90%以上にする。 「進んであいさつをしている」と考える保護者を80%以上にする。	児童88%, 保護者75% 目標に到達はしていないが、年間を通して持続して取り組んでいる。 家庭や地域でのあいさつについては、よくなったとお褒めの言葉いただくことが多い。	B	保護者の評価以上のあいさつの励行を感じる。	A	スローガンに掲げ、年間を通してじっくりと取り組むたい。 いじめやトラブルに関しては、早期発見・早期解決に向けて、全校あげて取り組む。	
	健康・体力作り	早寝早起き朝ご飯 運動習慣の改善や定着化	「早寝早起き朝ご飯」の重要性を、授業実践や学校からのたよりなどを通じて啓発する。 外遊びの励行や徒歩通学のすすめを行い、家庭との連携を図りながら体力作りに努める。 水泳検定、縄跳び検定、校内持久走、綱引き大会などを通じて、運動習慣の定着を図る。	給食を残さず食べる子が年々増えている。 残食調査(学期に1回)の効果が見られた。 様々な活動を通して、運動習慣の定着を図ることができた。	A	今の時期、音楽をかけたの全校児童の持久走等を見てみると、運動習慣の定着を感じる。	A	各種体育行事の練習に参加する学年を拡大し、全体の底上げを図っていきたい。 徒歩通学の奨励など、家庭との連携を図りながら健康・体力づくりを展開していきたい。	

学校改善に向けて

- 1月30日(木) 校内研修「学校評価について」
アンケートの考察と学校評価
- 2月中旬 学校関係者評価(学校評議委員会を兼ねる)
- 3月中旬 校内研修「来年度に向けての課題とよさの検討」



本校では、「互いを大切にしいあい、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を学校教育目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。また、昨年度末に教職員で話し合った結果をもとに、今年度のスローガンを、「いのちを大切にしよう」「自分からあいさつをしよう」「きまりを守ろう」とし、取り組んできました。また、来年度実施の徳島県健康教育研究大会に向けた研究の年でもありました。

今後、これらの教育活動をより充実したものにするため、年度末に保護者・児童にアンケートを実施し、それらの結果をもとに教職員の内部評価を行いました。このことについて説明したいと思います。

学校評価のためのアンケート結果については、昨年度までと同様に、全体として高い評価をいただきました。ほとんどの設問で、児童の85%以上、保護者の80%以上が「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答しています。特に、本校の重点目標である「あいさつ」「きまり(善悪の判断)」「いのち(危機管理、優しさ、思いやりなど)」に関わる項目が、大変高い評価を得たことは、うれしい成果です。

しかしながら、経年比較すると保護者アンケートで減少している項目があるのが気になりました。例えば、95%近くの子どもたちが「勉強はよくわかる」と回答しています。話を聞く態度も向上し、努力もできる子どもたちです。が、保護者アンケートでは「学校はわかる授業に努め、基礎的な学習の定着が図られるように取り組んでいる」という項目で、「当てはまる」という意見が80%に達していません。この両者にあるギャップが課題であると考えました。この現状をふまえて、「何が足りないのか」と話し合いました。「1時間1時間の授業をより充実させるにはどうしたらいいか」「ノート指導は適切か」「家庭学習の内容の吟味はできているか」「家庭との連携は十分か」…。学力向上は、学校教育の柱です。今後も検討を重ね、真摯に取り組んでまいりたいと思います。

次に、本校教職員の取組が十分に伝わっていないのではないかと反省がでてきて、学校からの情報伝達について考え直す必要性を感じました。文書や学校・学級日より、ホームページなどを通じてさらなる情報の共有に努めていきたいと思っています。迅速で適切なツールによる的確な情報発信を工夫・改善していきたいと思っています。また、2月28日の学校評議員会の学校関係者評価においては、昨年に引き続き高い評価をいただきました。

学校評価は、家庭や地域の皆様と連携しながら組織的で継続的な学校教育の改善と発展を目指す取組です。今回の結果をもとに、校内研修を実施し「本校の強み、弱み」について話し合いました。

1 「確かな学力」を育むために身につけたい力（手だて）

- ① 学習規律、基礎・基本の学習態度、聞く力
 - ・全校で次時の準備の仕方と準備をすることの徹底指導
 - ・学習用具の位置の見直しや下敷きを敷いて書く
 - ・家庭との連携
 - ・個別指導の工夫と徹底
 - ・聞き方のマニュアルの共通理解と確認
- ② 表現する力（書く力・話す力）
 - ・話し方のマニュアルの共通理解と確認
 - ・作文を書く、発表する機会を積極的に設定する
- ③ 積極的に学習に取り組む力
 - ・楽しく学べる、良く分かる授業
 - ・目で見て向上が実感できる
 - ・スモールステップで易から難へ
- ④ 思考力をつけ、自信につなげる

2 「しなやかで豊かな心」を育むために身につけたい力（手だて）

- ① 自己決定力
 - ・特別活動などの自主的・自治的活動の充実
- ② 自分で考え行動する力
 - ・考える場の設定
- ③ 自尊感情
 - ・「～名人」
- ④ 向上心
- ⑤ 挨拶・清掃・ルールを守る
- ⑥ 友達とのよりよいかかわり、心の安定

3 「健やかな体」を育むために身につけたい力（手だて）

- ① 基本的生活習慣の確立（手洗い・徒歩での登校・外遊び）
 - ・家庭との連携や家庭への啓発
- ② 食育の充実
 - ・食に関する授業
 - ・ペロリンピック
 - ・掲示の工夫
 - ・家庭との連携・協力
- ③ 体育授業の充実と運動意欲の向上（継続性・競争心）
 - ・運動の機会を多く設定（対外体育行事への中学年から練習参加）
 - ・目当てをしっかりとらせる
 - ・友達との協力や励まし合い
- ④ 環境の整備

以上の内容を、来年度の重点目標へ反映していきたいと考えています。